

いよいよ！第30回中部チアリーディング選手権大会の開催近づく

ついに梅雨入りした中部地区。今年の梅雨入りは例年より遅かったものの、中部選手権の開催は早めとなります。関西選手権と同日の6月15日（日）、愛知県名古屋市のポートメッセなごやにて、「第30回中部チアリーディング選手権大会」が開催されます。

北信越選手権のレポートにもあるように、中部選手権は当初北陸地区のチームも出場し、愛知県内で開催されていました。今年、北信越選手権は開催20回目を迎え、中部選手権は30回目を迎えます。

30年目を迎える中部選手権ですが、実はその1年前に準備大会としてテスト大会が開催されていました。当時を知る人々の間では、その大会のことを密かに「第0回大会」と呼ばれています。

筆者がチアリーディングを始めたのは、まさにその「第0回大会」が開催された1995年。中部選手権30年（+1年）という節目にあたり、当時のことを覚えている人がいないかと母校の卒業生に問い合わせたところ、準備大会の開催に誰よりも尽力したであろう人物から、お祝いのメッセージとともに当時の様子についてコメントをいただくことができました。

第30回中部チアリーディング選手権大会の開催おめでとうございます。

準備大会としてテスト大会が開催された1995年。その年は阪神・淡路大震災が発生し、震災の犠牲となった選手を追悼するために、第1回西日本選手権大会が開催されました。私はその大会を観に行き、あまりの熱気と迫力に圧倒され、「関西はチア文化はこんなに進んでいるのか！」と衝撃を受けたことを覚えています。

その経験を基に、プレ中部大会の実行委員として、南山大学（チアリーダーズ）ラッスルズの4年生を中心に運営に携わりました。本当に少人数だったため、各役割の責任が非常に大きく、私は大会進行係を担当しました。司会をお願いした南山大学放送部の方には何度も練習を重ねていただきました。まだ、全国大会への出場チームがほとんどなかったことから、できるだけ全国大会の雰囲気を出場選手に感じてもらいたいという気持ちで、チアの大会独特のチームアナウンスをしていただいた覚えがあります。そのため、競技前や式典等で使用する音源も日本協会にお借りしました。

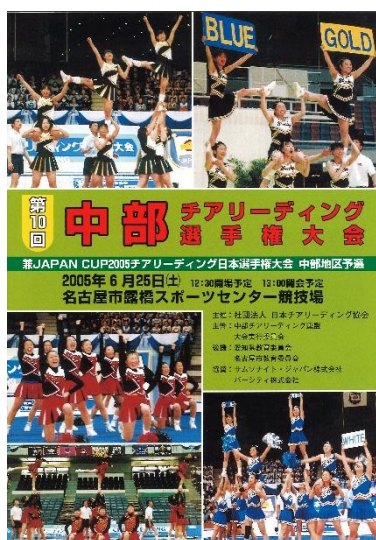
まだまだ中部地区のチアリーディングが黎明期だったあの頃、ラッスルズ創立から数年で準備大会を開催できたことを思い返すと、私たちがチアを大好きだったからこそなし得たのだなと感慨深いです。（南山大学チアリーダーズ RUSTLES 卒業生）

筆者自身は、1年生選手としてこの準備大会に出場しました。まさに全国大会と同じ音楽が流れ、チーム名が呼ばれる中、出場チーム数こそ多くはなかったものの、大変盛り上がりを見せた大会であったことを記憶しています。そんな思い出深い準備大会の開催には、前述の南山大学卒業生のように熱い気持ちで運営に尽力された方々の存在がありました。そのことを改めて知り、現在こうして中部選手権を運営する立場となった今、深く胸に迫るものがあります。



このようにして始まった中部選手権ですが、開催当初は秋に開催されており、JAPAN CUP の出場権をかけた地区予選となるのはもう少し先のことでした。そこからの内容については、今大会の公式プログラムの挨拶文に掲載しておりますので是非ご覧ください。

気が付けば30年。今では、自分の子どもたちの世代が選手として活躍する時代となり、多くの方々が中部地区のチアリーディングを支えてくださっています。そんな中部地区の選手たちが一堂に集う第30回中部チアリーディング選手権大会へぜひお越しください。会場お待ちしております。



本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。

Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.